

## 学校と家庭で育む

# 子どものための情報モラル教育



## 情報モラル教育の重要性

タブレット端末を活用した学びについては、学校はもちろんのこと、地域や家庭でも行うことができるようになります。自分に適した学習方法を見つけたり、友だちと協力しながら課題に取り組んだりする等、新たな学びの可能性も広がります。このようなインターネットを活用した学びの機会が増える中、子どもたちにとって安心・安全な学習環境を整えるためには「情報モラル教育」が重要になります。

このリーフレットを参考にさせていただき、学校と家庭が連携しながら子どもたちのための情報モラル教育を推進していきましょう。

…… ご家庭で、お子さんと一緒に確認してほしいこと ……

ネットは便利であると同時に、様々な危険があるということ

楽しく正しく使用するためには、ルールを作り、守る必要があるということ

トラブルや不安なことがある場合は、家族や先生に相談してほしいこと

# 情報社会の危険性

## ⚠ SNS等でのトラブル

言葉の行き違いや不適切な書き込みから、友人関係が悪化したり、いじめにつながったりすることがあります。

## ⚠ 見知らぬ人との出会い

ネット上には、性別や年齢を偽って子どもに近づく人がいます。実際に会って犯罪にまきこまれたケースがあります。

## ⚠ 法律違反

違法コピーや肖像権の侵害等で、法的に罰せられることがあります。

## ⚠ ネット被害

悪質なサイトやアプリによって個人情報流出し、不正請求されたり、迷惑メールが届いたりすることがあります。

## ⚠ スマホ・ネット依存

ネット等が手元になかったり、友達からの返信がなかったりするとイライラや不安を感じることがあります。

## ⚠ 健康被害

スマホ等を長時間使用することで、生活リズムがくずれて眠れなくなったり、姿勢が悪くなったり、視力低下や頭痛がおきたりします。



## 情報モラルは、「日常的な心の育ち」が土台

### 日常的な心の育ち

- 相手を思いやる
- 礼儀
- ルールや法律を守る
- 責任をもつ
- 我慢する気持ち

など

+

### 情報社会の特性を知ること

- 情報は誰が見るかわからない！
- 情報はずっと残ってしまう！
- 個人が特定される危険がある！
- 正しい情報とは限らない！
- 言葉の行き違いで誤解が生じやすい！
- 夢中になるとやめられなくなる！

など

情報モラル

ルールを守って安全に使用する力を学校と家庭で育みましょう！

# 家庭で育む 情報モラル

学校と家庭で、一緒に育んでいただきたい情報モラルのポイントは次の3点です。

## ①自分の心と体を守る ②相手を大切にする ③情報の危険性と法律を理解する

家庭で育む情報モラルの手がかりとして活用してみませんか。また、心配なことや気になることがあった場合は、家庭や先生に必ず相談してほしいことを伝えてください。

### 学校と家庭 一緒に育んでいただきたい情報モラルのポイント

#### ① 自分の心と体を守ること

- 長時間の使用が体に悪影響があることを指導しています。
- ネットで知り合った人には、悪意がある場合があることを指導しています。

☆ネット依存にならないために、積極的に子どもに声をかけ、コミュニケーションを取りましょう。

☆ネットで知り合った人に、自分の情報を教えたり、直接会ったりしないように声かけしましょう。

家庭での  
POINT



#### ② 相手を大切にする

- ネットに友達の悪口や嫌がることをのせてはいけないことを指導しています。
- 画像や動画をアップロードすると、相手を傷つける可能性があることを指導しています。
- SNSへの書き込みや画像や動画のアップロードが、いじめにつながる危険性があることを指導しています。

☆SNSでの安易な情報発信は、相手を傷つける可能性があることを伝えましょう。

☆投稿した情報は、簡単には消すことはできないことを理解させましょう。

☆写真には位置情報が付いていることがあり、簡単に撮影場所が特定されてしまうことを伝えましょう。

家庭での  
POINT



#### ③ 情報の危険性と法律を理解すること

- 悪意ある情報があることや情報が正しいとは限らないことを指導しています。
- 情報を守るためには、フィルタリングが重要であることを指導しています。
- 自分のIDやパスワードを他者に教えることは危険であることを指導しています。
- 著作権・人権などの情報に関する法・制度について指導しています。

☆前掲の「情報社会の危険性」について、親子で話し合ってみましょう。

☆著作権などの知的財産を尊重することの大切さを伝えましょう。

☆人権侵害により裁判に発展する可能性があることをご家庭でも確認しましょう。

☆個人情報の取扱いに関するルールや法律について、子どもと共に確認しましょう。

家庭での  
POINT

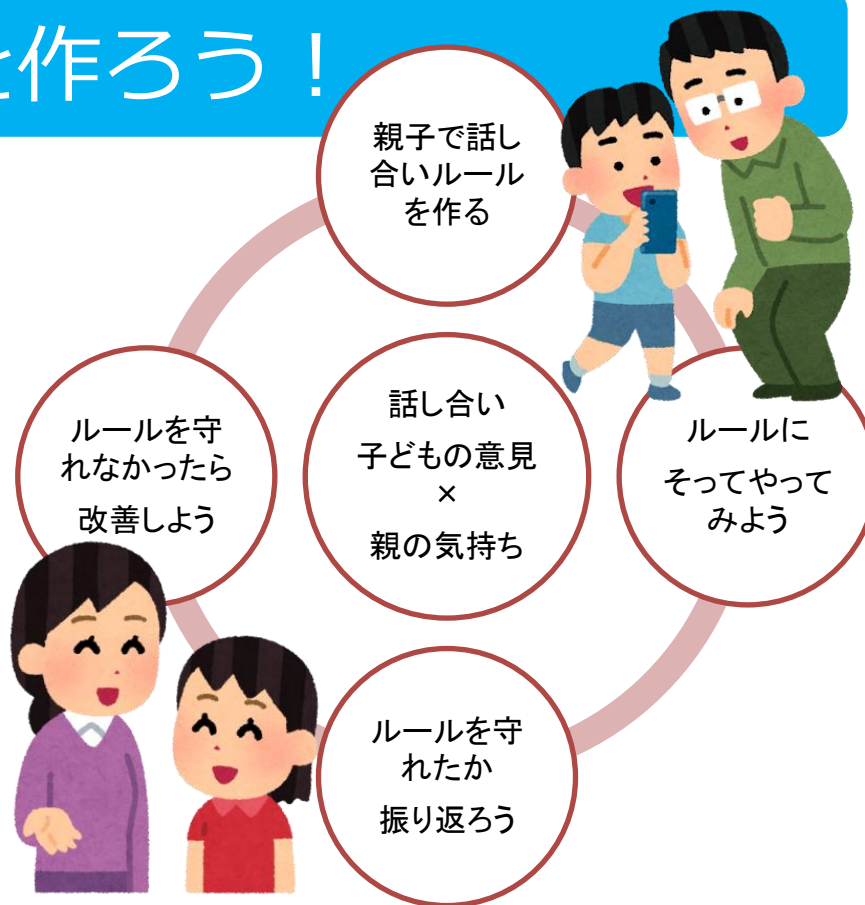


# 家庭でルールを作ろう！

## 子どもの意見 × 親の気持ち

自分のタブレット、ゲーム機、スマホを持つときがルール作りのベストタイミングです。ポイントは、親子が互いに自分の意見や気持ちを出し合うことです。互いが主張して、少しずつ妥協して決めたルールは長続きします。逆に、一方的なルールの押しつけは長続きしません。

ルールが守れないときや、子どもの成長・生活習慣の変化に合わせて柔軟にルールを見直すことも大切です。



## ルールの例

- 1日の使用時間は、合計( )時間( )分以内にする。
- 夜( )時以降は、タブレットやスマホの使用をやめ、( )に置き、自室などで使用しない。
- 食事中は使用しない。
- 写真・氏名・住所・電話番号などの個人情報はネット上に公開しない。
- SNSなどで人を傷つける書き込みや行為は絶対にしない。
- 有料アプリや課金アイテムの購入は、親に相談する。
- トラブルや不安があったらすぐに親、先生に相談する。

## ひとりで悩まずに、すぐ相談！

### <学校に相談>

「気になるな」「あれ？おかしいな・・・」と違和感をもったら、気軽に学校まで相談してください。担任の先生だけではなく、校長先生、教頭先生、保健の先生なども対応します。



### <学校以外にも相談できます>

#### ○こども総合支援センター

・電話：0120-783-041  
(フリーダイヤル)

受付：月～金曜日

午前8時30分から午後7時30分  
(祝祭日、年末年始はのぞく)

・電話：026-224-9746  
受付：月～金曜

午前8時30分から午後5時15分  
(祝祭日、年末年始は除く)



※こどもは、悩みや困ったことがある場合、タブレット端末のアイコンから「相談フォーム」に連絡できるようになっています。

